

消防指令システム等の整備事業に係る 事例収集に対する意見

平成30年10月18日
事務局

消防指令システム等の整備事業に係る事例収集に対する意見

異メーカー間接続の事例収集に関連して、どのような情報を収集し、消防本部間で共有することが業務の参考となるのか等について検討が必要。

【収集・共有する項目（例）】

- ・ 整備・更新対象設備（消防指令システム／消防救急無線／両方）
- ・ 整備・更新事業の請負事業者名、契約金額
- ・ 既設設備改修等事業の請負事業者名、契約金額
- ・ 既設設備改修等事業に係る費用の妥当性の検証方法（詳細工数の提示を依頼、自治体CIOの助言等）
- ・ 既設消防救急無線のメーカー名、設備の規模（基地局数、無線チャンネル数等）
- ・ 既設消防指令システムのメーカー名、設備の規模（指令台数、119番通報受理回線数等）
- ・ 消防本部の体制（●名（専任●名、兼任●名））
- ・ 整備・更新事業の実施スケジュール、事業進捗に応じた消防職員と各事業者との調整内容
- ・ 外部委託業務の有無や業務範囲
- ・ 異メーカー間接続のために削減した独自機能と削減を決定した理由
- ・ その他参考情報



前回（第5回）会合において収集項目に関する意見の提出を依頼するとともに、全国の消防本部へのアンケート調査でも意見を募った。

事例収集項目に関する構成員からの意見(1/3)

○収集・共有する項目(例)に対する意見

項目	意見	意見に対する考え方(案)
・ 整備・更新対象設備(消防指令システム／消防救急無線／両方)	消防指令システムは規模により、指令台、無線統制台等の通信系設備と、自動出場指定装置、地図等検索装置等の情報系設備で構成されていることから、 <u>通信系設備と情報系設備の更新方法(一括更新・分離更新)</u> についても収集する必要があると思われます。	通信系設備と情報系設備を分離更新しているケースが実際にあるのか確認が必要と考えます。
・ 整備・更新事業の請負事業者名、契約金額 ・ 既設設備改修等事業の請負事業者名、契約金額	<u>契約方法(工事契約、製造契約、買入れ契約、賃貸借契約等)、入札方法(企画提案、特命随意、指名競争、一般競争等)</u> についても分かると参考になると考えられます。	収集項目として追加します。 なお、それぞれの具体の選択肢(工事契約、製造契約、買入れ契約、賃貸借契約、企画提案、特命随意、指名競争、一般競争等)については検討が必要と考えます。
	整備・更新事業の入札等の概要(一般競争入札・指名競争入札か？ 指名の場合は、業者選定理由等)	
	整備更新事業、既設改修事業、外部委託業務いずれも契約方法についても収集	
	契約金額については、事業規模、実現する機能等が異なるため、あまり参考にならないと思われます。	事業規模、実現する機能等の変動要素と併せて収集することで、各本部に示された見積りの妥当性評価等に有用なものになると考えます。
・ 既設消防救急無線のメーカー名、設備の規模(基地局数、無線チャンネル数等)	無線チャンネル数のうち活動波は電波法関係審査基準に基づき車両台数を基本として割当てされるので、同等規模の本部を知るためであれば、 <u>無線チャンネル数ではなく、救急車やポンプ車の数が分かれば十分である</u> と考えます。 また、基地局数については、無線回線制御装置の規模という点では必要であると考えますが、 <u>管轄面積、地形、人口密集度、無線通信方法等により条件が変わるため基地局の整備数そのものについては参考にはならない</u> と考えます。 むしろ異メーカー間接続を実施するにあたり、消防救急無線の機能として、音声通信のほか、 <u>データ通信の活用の有無、データ通信の他システムとの接続の有無等が分かると参考になると</u> 考えられます。	割当られるチャンネル数の上限は車両台数により定められていますが、各本部に実際に割り当てられているチャンネル数は必ずしもそれと同一であるとは限らないため、無線設備の規模を把握するためには無線チャンネル数や基地局数等の情報を収集することが有効と考えます。 データ通信の活用の有無や他システムとの接続の有無等については、収集項目に追加します。
	既設設備の整備年月日	収集項目として追加します。

事例収集項目に関する構成員からの意見(2/3)

○収集・共有する項目(例)に対する意見

項目	意見	意見に対する考え方(案)
・ 既設消防指令システムのメーカー名(指令台数、119番通報受理回線数等)	指令台数、119番通報受理回線数等は、消防本部によっては非公表の可能性があることから、同等規模の本部を知るためであれば、人口、119番の受付件数、救急件数等が分かれば十分であると考えます。 また、無線と同様に、消防指令システムの機能、他システムとの接続の有無等が分かると参考になると考えられます。	管轄人口や119番通報の受付件数、救急件数については、収集項目として追加します。 なお、この取組は任意のもので、この項目に限らず、収集項目の中に各本部において非公表としている情報等の回答が困難なものがある場合には、その旨を記載したり、空欄にする、概数を記載する等の対応も考えられます。
	既設設備の整備年月日	収集項目として追加します。
・ 消防本部の体制(●名(専任●名、兼任●名))	この問いでは、指令業務に従事する職員の体制か、消防指令システムや消防救急無線等を整備する職員の体制かが不明確です。後者であれば、技術職採用の有無、育成教育方法等についても参考になると考えられます。 また、兼任とは何の業務との兼任かについても定義をした方が良いと考えられます。	消防指令システムや消防救急無線等の整備・更新に係る体制であることを明確化したうえで、技術職採用の有無、各担当者の直前の業務、兼任者の兼任業務の内容について、収集項目として追加します。
	専任・兼任職員の業務内容、専門知識に対する職員の教育体制	
	消防本部の体制の専任・兼任者数のほかに、元々の担当部署はどこか	
	単独消防整備と共同整備とでは、整備方法、体制、調達方法等が異なることが想定されることから、分けて整理する必要があります。	収集項目として追加します。
	整備・更新事業及び既設設備改修等事業の仕様書の策定方法	収集項目に反映するためには、もう少し具体化が必要と考えます。 (消防本部職員が自ら策定したか、設計業者に委託したかの別?)

事例収集項目に関する構成員からの意見(3／3)

○収集・共有する項目(例)に対する意見

項目	意見	意見に対する考え方(案)
・ 整備・更新事業の実施スケジュール、事業進捗に応じた消防職員と各事業者との調整内容	準備期間を含めた更新計画に要した期間も参考となるのでは	それぞれの意見を収集項目を反映します。
	責任分界点について、どのように設定したのか。また、機器トラブル時に消防本部としてマニュアル等を作成しているのか	
	消防指令システム更新時において、異メーカーの場合においてデータ移行に苦慮したこと	
	異メーカー間接続後に発生した、トラブルとその対応策	
	接続に係るインターフェース仕様に不備がないようにどのような対策を行ったか、不備があった場合どのような対応を行ったか	
	消防、事業者間での調整内容については、特段調整に苦労した等、特長的なもののみを収集	
	既存・更新それぞれ別契約とした際の事務手続き上の留意点	収集項目に反映するためには、もう少し具体化が必要と考えます。
・ 異メーカー間接続のために削減した独自機能と削減を決定した理由	異メーカー接続のために削減した独自機能の削減理由に加えて、あるならば代替機能について収集	収集項目として追加します。

○その他の意見

- ・ 消防指令システム、消防救急無線以外のシステム調達の参考事例の調査を、これと併せて実施してはどうでしょうか？
- ・ 調査の実施に当たり、情報の共有範囲は消防機関に留めることを明確にする必要があります。本調査結果が公表を前提とする場合、新たな談合を誘発するような資料であったり、テロリスクに晒される資料となったりしないように十分注意する必要があります。

アンケート調査における事例収集項目に関する主な意見(1/2)

#	項目分類	項目名
1	消防本部の規模	広域化の状況（単独消防／組合消防／複数本部による指令センターの共同運用の別）
2		管轄人口
3		指令室の勤務人数
4	整備・更新事業の概要	■ 整備・更新対象設備（消防指令システム／消防救急無線／両設備一括）
5		整備・更新事業の実施スケジュール
6		整備・更新設備の発注方法（工事請負／物品購入／機器リース等）
7		整備・更新事業の入札・契約方法（一般競争入札／指名競争入札／随意契約等）
8		■ 整備・更新業務の請負事業者
9		■ 整備・更新業務の契約金額
10		既設設備との接続方法（中間サーバの有無、既設設備改修の概要等）
11		共通インターフェイス規格の中間サーバー設置時の責任分界点
12		■ 異メーカー接続のための既設設備改修等業務の契約金額
13	設備・システムの情報	既設設備の整備時期
14		耐用年数
15		■ 既設設備のメーカー
16		■ システム規模、中継回線種類、基地局数、署所数、移動局数、活動波数、中継回線用装置数等
17		車載端末数、署所端末数、車載無線数、携帯無線数
18		消防救急デジタル無線共通仕様書第一版における「SCPC方式の消防救急デジタル無線システムにおける提供サービス」で示された各機能の実装状況、利用状況
19		セレコール使用可否、AVM規模数
20		地域に応じた特殊機能など、独自追加機能の実装状況、利用状況
21		中間整備（部分改修）実施時期
22		既設設備・システムの稼働後に追加で整備した設備・機能
23		消防指令システムと接続される消防救急無線以外の異メーカーの設備・システム

■ : 事務局提示案と同旨の意見
 ■ : 2～4本部からの意見
 ■ : 5以上の本部からの意見

アンケート調査における事例収集項目に関する主な意見(2/2)

#	項目分類	項目名
24	設計・機能選定・費用の 妥当性検証に係る体制	■消防本部の体制
25		■適正価格・仕様の妥当性の検証方法・経費節約事例の共有
26		消防以外の部局との連携内容
27		■外部委託業者の有無並びに委託内容、請負事業者名及び契約金額
28		設計事業者名及び契約金額
29	整備・維持費用の低廉化 に向けた取組	■異メーカー間接続のために削減した独自機能と削減を決定した理由
30		異メーカー間接続のために独自機能を削減した影響又は代替手段
31		契約金額だけでなく、個別装置ごとの単価や労務費やS I 経費等、機器費以外に要する経費も共有
32		ランニングコスト（保守委託料及び部分更新料、その他修繕費等）
33		保守点検内容
34		保守・維持管理費用を整備・更新発注時に含むか別途契約するか
35		施工管理業務の具体内容
36		調達仕様書等の共有
37	■その他参考情報	■事業進捗に応じた消防職員と各事業者との調整内容
38		異メーカー設備・システム間の接続時に発生した問題および対応策（既設メーカーの情報非開示、作業協力の拒否、法外な費用の要求など）
39		異なるメーカーがシステムの連携・連動した高機能システム構築のため協力した事例
40		稼働後の設備・システムの不備内容
41	消防指令システムと消防 救急無線の接続以外の情 報	財源内容（一般財源、地方債、補助金 など）
42		近隣市町村の消防指令システムの情報
43		119番通報受理回線の迂回設定事例

■：事務局提示案と同旨の意見
 ■：2～4本部からの意見
 ■：5以上の本部からの意見